

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

幼児教育学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

1. 基礎的な学力を身につけている。
2. 豊かな感性をもっている。
3. 人と協力して物事を進めていくことができ、基本的な社会性を備えている。
4. 子どもと共に学び、子どもと共に成長しようとする意欲がある。

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 人間教育に必要な幅広い教養を身につけるために、高校までのすべての教科に関する基礎的な知識・技能を身につけている。
2. テーマにそって論理的に考えることができる。
3. 子どもや幼児教育について自ら学ぼうとする意欲をもっている。

②思考力・判断力・表現力

1. 自分の考えを的確に文章で表現する力を身につけている。
2. 他者の意見を受け入れながら自分の意見も伝えることができる。
3. 人と協力をして物事を進めていく力を身につけている。

③主体性・多様性・協働性

1. 幼児教育学科の教育理念を理解している。
2. 自分の考えを文章で表現することができる。
3. 基本的な社会性（基本的生活習慣や態度、言葉遣い）を身につけている。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

児童教育学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

1. 自分のよさを伸ばしたい。
2. 子どもの喜びを自分の喜びとする。
3. 知的好奇心に富み、学び続ける力を備えている。

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 小学校教員免許や特別支援学校教諭免許、幼稚園教諭免許、中学校・高等学校教員免許（英語）の取得希望者で、

取得に必要な高校までの教科・科目の基礎を身につけている。

2. 会話表現や文章表現に必要な国語の基礎的な知識を身につけている。
3. 教育に必要な幅広い教養を身につけるために、高校までの全ての教科・科目に関する基礎的な知識を身につけている。

②思考力・判断力・表現力

1. 自己を分析し、他者に対して自己についてアピールすることができる。
2. 質問や発問に対して臨機応変に答えることができる。
3. 与えられたテーマについて必要となる情報を想起し、整理し、自分の考えを伝えることができる。

③主体性・多様性・協働性

1. 自ら考え行動することができる。
2. 集団の中で他者の考えを受け入れながら自分の考えも他者に伝えることができる。
3. 課題に対して他者と協働して取り組むことができる。

教育人文学部 心理学科

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

心理学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

1. 人間の心と行動に対して興味がある。
2. 共感的態度を有し、他者を支援したいという意欲がある。
3. 知的好奇心に富み、物事を科学的・論理的に考察する思考力を備えている。

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 心理学の学びや養護教諭免許、公認心理師など資格取得に必要な高校までの教科・科目に関する基礎的な知識を身につけている。
2. 「人の心と行動」に関する課題について問題点を見つけ、さまざまな人の生き方や考え方を尊重した改善方法を考えることができる。
3. 客観的なデータや資料を分析するための基礎的な知識（特に、国語、数学、英語など）を身につけている。

②思考力・判断力・表現力

1. 「人の心と行動」に関する課題について資料（文章、データなど）を読み取り、問題点を見つけることができる。
2. 他者の考えを理解するとともに、自身の考えを適切に表現し、誰とでも対話し、協力して行動できる能力を有している。
3. 社会における諸問題を解決するために、さまざまな視点から物事を考え、他者の意見を取り入れながら適正な判断をくだすことができる。

③主体性・多様性・協働性

1. 入学後の学修に必要な基礎学力（英語・国語・数学・生物・化学・日本史）を元にして、課題に対して積極的に取り組むことができる。

2. さまざまな人の生き方や考え方を大切に、他者を支援したいという共感的態度を有している。
3. 社会的課題に興味を持ち、自ら積極的に関わろうとする態度を有している。

教育人文学部 文芸文化学科

入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

文芸文化学科では、学園歌「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」の精神に基づき、教育研究上の目的と教育内容を踏まえ、次のような点を評価して入学受入を行う。

1. 言葉を有する人間が生み出した文化・芸術に知的な好奇心を抱き、それを追究するための深い洞察力を得たい。
2. 多様な文化的背景をもつ人々との協働を視野に、論理的な思考力、柔軟な発想力、的確な表現力を身につけたい。
3. 生涯を通して持続可能な教養を身につけ、新たな文化・芸術を創造する意欲がある。

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 文化・芸術を追究するための幅広い教養と、すべての教科・科目に関する基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 文芸文化学科での専門的な学修や中学・高等学校教員免許状（国語）に関する学修を行うために必要となる基礎的学力を身につけている。
3. 高等学校の「現代の国語」「言語文化」（国語総合）において達成すべき日本語力を用いて、会話表現や文章表現に関する基礎的知識を身につけている。

②思考力・判断力・表現力

1. 幅広い領域に興味・関心を持ち、自ら課題を設定することができる。
2. 必要な情報を整理し、論理的にまとめることができる。
3. 固定観念にとらわれることなく、多様な意見を踏まえながら、自らの意見を表現することができる。

③主体性・多様性・協働性

1. 文化・芸術について自ら考え学ぼうという意欲がある。
2. 多様な文化的背景を持つ他者を尊重し、異なる考えを受け入れつつ、自らの意見を表現できる。
3. 正解がない課題に対して、他者と意見を交換することで、よりよい価値を生み出す意欲がある。